



寄稿

「中堅教諭対象研修会」によせて

やま さ き
山崎

ゆう
優

先生 横浜美術館子どものアトリエ 主席エデュケーター

私は横浜美術館に併設されている「子どものアトリエ」という施設に勤務しています。美術館は“学校”ではありませんが、“社会教育施設”としての役割があり、「子どものアトリエ」は、その中でも特に幼児～児童を対象に開かれた場所です。私はこの「子どものアトリエ」で、幼稚園・保育園および小学校と連携した「学校のためのプログラム」や親子で造形に親しむプログラムなどの運営・指導をしています。多くの子どもたちを見ていると“描いたり、作ったり”するためには、いろいろな力が育っていないと、それがかなわないことがわかります。例えばお絵かきで色を塗ろうとする時、何色にするかを決められないと始まりませんし、塗り終わるまで集中して手を動かさないと仕上がりがありません。お絵かきするにも「決める力」、「継続できる力」が必要なことがわかります。また人への依存心が強い子どもには、自分のやりたいことを自分でするということとはできません。造形活動にまず必要なのは、「自分でする、自分がする」という自立の意識の獲得であり、「自分はこうしたい」という意志です。残念ながら意識や意志は目に見えない内的なもので、その育ち具合は身体の成長のように目では確認できず、数値化もできません。造形活動は、「表現」の領域になるので、ついつい

“作品”という側面で評価しがちですが、そもそも意志も意識も発達途上の子どもたちに、大人と同じような尺度を当てはめることには無理があります。幼児期の造形活動はその目的を「表現」や「作品」を第一義と捉えずに、子どもの内面の成長に働きかける活動と考える方が有意義な学びのチャンスとなるでしょう。私は造形の指導者という立場ですが、アーティストの育成ではなく、造形の時間が子どもたちにとって人の尊厳にもつながる、「自分でするから楽しい」という感覚が味わえる充実した時間であって欲しいと思います。それは「人を育てる」ことが目的の幼児教育の現場の先生方とも共有できる意識ではないでしょうか。幼児期における造形活動が、子どもたちの人としての幹を太く強く育ててくれることを願っています。



平成29年度中堅教諭対象講習会
横浜美術館 子どものアトリエ研修

※今年度の募集は終了しております。

実施日

- ◆第1回 6/14(水)「つけることから始めるえのぐ」
- ◆第2回 9/20(水)「たくさん描こう、いろいろなお絵かき」
- ◆第3回 10/18(水)「確かめて描く、思い出して描く」

研修会報告

研究部主催 研修事業部主催

6月14日(水)
中堅教諭対象講習会 横浜美術館子どものアトリエ 56名
つけることから始めるえのぐ
(年少児の活動を中心に。絵の具の基本について)
横浜美術館学芸教育グループ主席エデュケーター 山崎 優 先生

6月14日(水)
若手後継者のための保育勉強会 かながわようちえん会館 33名
「保育の見直しと保育者を育てるために必要な事」
講師 仁慈保幼園・世田谷仁慈保幼園・多摩川保育園園長 妹尾 正 教 先生
コーディネーター 玉川大学教授、四季の森幼稚園園長 若月 芳 浩 先生

6月21日(水)
新規採用教員研修会 神奈川県立体育センターアリーナ 127名
体験しようアドベンチャー教育 第1回
玉川大学TAPセンター 白山 明秀 先生

6月22日(木)
園内研修 兼 10年経験者研修会 かながわようちえん会館 60名
「園内研修の視座を語り合う：
写真等のビジュアルなメディアを用いた研修」
東京大学大学院教育学研究科教授 秋田 喜代美 先生

6月29日(木)
特別支援教育研修会 兼 10年経験者研修会 かながわようちえん会館 70名
「不適切な言動の見立て(要因)と対応の基本」演習:要因の想定
特定非営利活動法人発達支援機関 リソースセンターone代表理事
臨床発達心理士 上原 芳枝 先生

7月5日(水)
新規採用教員研修会 かながわようちえん会館 128名
「幼稚園教諭の役割－初任者の自覚と責任－」
青木教育研究所所員、立正大学大学院非常勤講師 平山 許江 先生

8月1日(火)・2日(水)
教員免許状更新講習 鶴見大学 157名
「教育の最新事情」
1日 鶴見大学短期大学部 教授 山室 吉孝 先生
2日 鶴見大学短期大学部 准教授 橋本 弘道 先生

8月7日(月)
新規採用教員研修会 鶴見大学 186名
「よりよい保育を実践するために～幼児理解と指導計画～」
鎌倉女子大学短期大学部 教授 佐藤 康富 先生
「造形で保育は変わる」
十文字学園女子大学 名誉教授 平田 智久 先生

8月8日(火)
新規採用教員研修会 鶴見大学
「新任だからこそ、得意分野を発揮しよう！」 177名
鎌倉女子大学 教授 小泉 裕子 先生

音楽「保育者としての表現力(声、身体、音媒体、楽器を使って)
～音を聴く、音で遊ぶ、音を作る、音で表現する～」 41名
小田原短期大学 講師 望月 たけ美 先生

絵本「保育に活かす言語表現教材－言葉で遊ぶ－」 39名
鶴見大学短期大学部 教授 松本 和美 先生

自然「自然大好き先生が自然が大好きな子を育てる」 38名
東京家政大学 教授 佐藤 英文 先生

体を動かす遊び「幼児期の運動遊び」 36名
静岡県立大学短期大学部 教授 朴 淳香 先生

人形劇「保育に活かせる人形劇」 23名
ひとみ座幼児劇場 石原 ひとみ 先生

8月23日(水)～24日(木)
若手後継者のための保育勉強会 岐阜サニーサイドインターナショナルスクール 11名
「保育を新たな視点から見直すことの苦悩と価値」
講師 サニーサイドインターナショナルスクール 園長 渡辺 寿之 先生
コーディネーター 玉川大学教授・四季の森幼稚園 園長 若月 芳浩 先生

8月30日(水)
男性保育者勉強会 かながわようちえん会館 40人(予定)
「チャレンジングな仕事をしていますか?－3法令同時改訂を学ぶ－」
お茶の水女子大学発達教育科学研究所協力研究員、保育のデザイン研究所研究員 相馬 靖明 先生

副会長の考える
連合会のあり方連載
第2回

県連合会の5名の副会長に「連合会のあり方」についてお聞きしました。全3回の連載で、第2回目となる今回は岩本勉副会長にお聞きしました。

子どもの未来を豊かにする幼児教育
をめざして

岩本 勉 (研修事業部担当)



今年、小学校を卒業する児童のおよそ65%は、現在存在しない名前の職業に就く。また、今後20年以内に、アメリカの雇用者の47%は機械にとって代わられるという

欧米の研究者の調査結果があります。言い換えると、創造性を必要としない仕事はすべてテクノロジーの発達により淘汰されていくということです。

我が国においても、予測しがたい未来を生きることになる子どもたちに必要な資質・能力を育む教育の在り方が大きな課題となっています。今回の幼稚園教育要領の改訂では、幼児教育を始期とする学校教育の見直しが図られることになりました。幼児期の学びを土台に小学校以降の教育に繋いでいく一貫した仕組みづくりという考えが明確に打ち出された内容となっています。

そもそも、「幼児期の子どもの学びとは何か」という問いは、幼児教育現場に立つ我々にとって最も基本的なものです。何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるかといった視点だけでなく、協同的遊びから得られる主体的・対話的で深い学びについて、しっかりと保育者自身が学んでいくことが求められています。

研修活動は、基本的に各園が計画的に構築すべきものです。自園の理念や特色を生かした幼稚園教育の充実を図ることは私立幼稚園の将来を決定する大切な鍵となります。ただし、頑迷固陋に自園の保育にこだわっているだけではガラパゴス化していくことは自明のことです。

倉橋惣三が「幼稚園雑草」のなかで、「疑え、疑え、考えよ、考えよ。そこに明日の幼稚園教育が初めて生きて動き出すであろう」と言っています。神奈川県私立幼稚園連合会の研修活動が各園の保育の質を高め、子どもたちの幼稚園生活が豊かなものとなることを期待し、多くの先生方が積極的に参加されることを切望いたします。

研修事業部・研究部活動報告

新採研

夏期新規採用教員研修会を終えて

研究部次長 黛 裕治

記録は「子どもが自信を
持ったためのもの」

8月8・9日開催

研究部 佐伯 妙有

神奈川県担当フォーラム5 「保育の記録と保育の振り返り」

●外部ゲスト 佐藤 康富 鎌倉女子大学短期大学部 教授

●内部ゲスト 豊嶋 常和 ひかりの子幼稚園 園長

●コーディネーター 佐伯 妙有 伊勢原ひかり幼稚園 園長

●問題提起者 櫻井つた江 聖母幼稚園 園長

原田 亨 聖マリア幼稚園 教諭

神奈川県としてフォーラム5の「保育の記録と保育の振り返り」を右記のメンバーで担当させて頂きました。

櫻井先生の発表は、付箋紙を使った園内研修をすること、職員の見解が出やすくなり可視化出来るようになった中、保育の記録をビデオで撮り、職員間で共有し話し合うことで、より子ども理解を深めることが出来たという内容でした。

原田先生の発表は、ベテランの先生が多い園で従来の日誌形式の記録から写真を使った保育記録に取り組むことで先生方の方見方や情報の共有の仕方が変わる一方、写真を撮る事へのデメリット等も出て、その園の先生方の思いがダイレクトに伝わってくる内容でした。

午後のグループ討議ではバースデールインから参加者の気持ちをほぐした中で、午前中の発表を受け「どういう子どもの姿を大切にしているか」「教師間でどう共有しているか」「どう保護者に伝えているか」というテーマで話し合いを持ちました。午前の発表で共感を得た参加者も、様々な意見交換が出来てそれを可視化することで、全体の意見が話し合うことの大切さをお話しいただき、佐藤先生からは記録の双方向性や生かし方についてお話しいただきました。最後に印象的だったのは、記録というのは「子どもが自信を持つためのもの」という佐藤先生の言葉でした。



県連の関わる新採研は、公立と私立合同の2回の研修会を含めた7日間、全13の講座を設定し、県内(横浜・川崎・相模原の政令指定都市を除く)の幼稚園(認定こども園含む)に採用された約200名の教員を対象に開催されています。今年の夏期の私学単独研修でも、鶴見大学に会場のご協力いただいて台風の進路が気になる中、何とか無事に終えることが出来ました。年度当初の5月には、少し緊張し初々しく受講していた先生方も、少しずつ経験を積み重ね、先輩と共に各講師に多くを学び励まされ、今では少し自信も付き、頼もしくも感じられる様に成長してきています。

今年度の研修の内容は、次の通りです。

- 神奈川県私立幼稚園 神奈川県私立幼稚園連合会会長 小澤 俊通
- 保育者としてのスタートー子どもたちのためにー 聖徳大学 教授 塩 美佐枝 先生
- 体験しようアドベンチャー教育①(公立私立合同) 玉川大学 TAPセンター 白山 明秀 先生
- 幼稚園教諭の役割ー初任者の自覚と責任ー 青木教育研究所所員・立正大学大学院非常勤講師 平山 許江 先生
- よりよい保育を実践するためにー幼児理解と指導計画ー 鎌倉女子大学短期大学部 教授 佐藤 康富 先生
- 造形で保育は変わる 十文字学園女子大学 名誉教授 平田 智久 先生
- 新任だからこそ、得意分野を発揮しよう！ 鎌倉女子大学 教授 小泉 裕子 先生
- 実技 1 音楽 保育者としての表現力(音を聴く、遊ぶ、作る、表現する) 小田原短期大学 講師 望月 たけ美 先生
- 2 絵本 保育に活かす言語表現教材ー言葉で遊ぶー 鶴見大学短期大学部 教授 松本 和美 先生
- 3 自然 自然大好き先生が自然が大好きな子を育てる 東京家政大学 教授 佐藤 英文 先生
- 4 体を動かす遊び 幼児期の運動遊び 静岡県立大学短期大学部 教授 朴 淳香 先生
- 5 人形劇 保育に活かせる人形劇 ひとみ座幼児劇場 石原 ひとみ 先生

VOICE
受講者の声

よりよい保育を目指して

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園 萩原 由美

自園でも園内研修を行ってききましたが、どのようにしたら園内でも、より積極的に話し合いがなされ、さらに活性化していくかを学ぼうと思いい参加しました。

「保育者は研究者・探究者である。保育者が探究するかからこそ、子ども達も探究していく。ワクワクの連鎖が生まれる園の風土が大切だ」という秋田先生の言葉を聞き、あまり硬く考え過ぎず楽しく続けられることから取り組んでみようと思いました。

ワークショップでは、他園の様々な園内研修の取り組みやポイントを互いに共感し合うよう「あいいうえお」の相槌を打ちながら伺いました。写真を使う・園外に行こう・正解を作らない・先生の良い所を褒め合う・若い先生が語れる雰囲気を作る・子どもの気持ちになり実際にあそんでみるなど、たくさん行ってみたいのがありました。

園内研修をすることで、自分の保育を振り返ることや先生同士の関係を深め、互いに専門性を高めていくことができると感じました。そして、園として大切にしていきたいことや、育ってほしい子どもの姿を職員で共通認識すると共に、子どもって面白い・保育って楽しいと改めて感じるのではないかと思います。いつまでも探究する心を忘れず、互いに支え合いながらより良い保育を目指していける、前向きになれる園内研修を学び、自園の職員と一緒に保育を高め合っていきたいと思っています。

園内研修



講師: 秋田 喜代美 先生
(東京大学大学院教育学研究科 教授)

- ◆第1回 6月22日(木)
「園内研修の視座を語り合う
写真等のビジュアルなメディアを用いた研修」
- ◆第2回 10月26日(木)
「園内研修の協議を考える
研修時のテーマと協議活性化の工夫」
- ◆第3回 12月22日(金)
「園内研修から実践への探求サイクルを創る
研修に基づく実践の試みの工夫」

平成29年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会委員総会

去る6月16日(金)、平成29年度の神奈川県私立幼稚園父母の会連合会委員総会が、かながわようちえん会館にて、県内各地より60名程の委員が集い盛大に開催されました。当日は平成28年度父母の会連合会・中島副会長のご挨拶より始まり、幼稚園連合会・小澤会長、そして父母の会連合会・鈴木会長よりご挨拶頂いた後、事業報告・計画並びに決算予算について恙なく採決されました。そして、当日ご参加の父母の会委員の皆様よりの常任委員の選出へと移りましたが、昨年度に続き再任を快諾下さった方、積極的にご参加下さった方を含む、9名の責任

感に満ちた委員の皆様が、和やかな雰囲気の中で選出、承認されました。齋藤希絵新会長の下、総勢9名の新常任委員の皆様を中心に、私達を含め1年間活動して参ります。先ずは来る11月21日(火)の研修大会の企画開催へ向け常任委員一丸となり取り組んで参りますので、是非とも皆様のお力添えをお願い致します。またこの度退任された鈴木妙子会長並びに8名の常任委員の多大なるご活躍について、ここに報告申し上げますと共に、心より敬意を表したいと思います。(総務部次長 鈴木 豊司)

子ども達の

明るい未来のために

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 会長 齋藤 希絵 (津田山幼稚園)



秋涼とは名ばかりの残暑厳しい今日この頃、幼稚園の先生方は、秋の行事の準備でお忙しいことと存じます。また、各園の園長先生をはじめ、教職員の皆様、関係者の方々には、日頃より子ども達と真摯に向き合い、より良い幼児教育にご尽力いただき心より感謝申し上げます。公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会への加盟園数は580園、総園児数は10万人を超えております。これは東京都について2番目の規模の団体となります。その大きな団体の父母の会の会長という大役を仰せつかり、最初はその重責に戸惑いました

が、他の地域の幼稚園のお母様方に接することができ、今はその出会いに感謝しております。常任委員の方々と協力し合い、先生方にご指導いただきながら、皆様のお役に立てるよう、日々精進してまいります。幼稚園での生活は、子ども達の心を育て、意欲、態度、基本的生活習慣など、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる大変重要な時間であり、この時期だからこそできる経験を行うことは、将来充実した生活を送るうえで不可欠であります。そして、そのように子ども達を育てるのは、素晴らしい制度や教育、幼稚園だけでなく、第一に家

庭だと思えます。その家庭での子育て・教育に協力していただくのが、幼稚園や地域、行政です。私達保護者はその自覚を持ち、子ども・子育てに携わる関係各所と連携を取り、それらの活動に積極的に参加し、努力することで子ども達ひとり一人を明るく未来へ導くことが出来るのではないのでしょうか。父母の会連合会では、子ども達の幸福と父母自身の幼児教育に対する意識を高めるため、研修大会等を開催しております。また、就園奨励費充実に向けた教育費負担軽減に対する要望活動にも取り組んでまいります。

次世代を担う子ども達の限らない成長のために、皆様と一緒に楽しく活動していきたいと思っておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。

電話番号

045-440-3210

ホームページ

http://www.shinshiyou.com

相談の申し込み

平成29年度就職相談会

参加学生の

減少が大きな懸念

経営管理部次長 浅谷 学



神奈川県内の私立幼稚園・認定こども園への就職を希望する学生を対象とした就職相談会を7月8日(土)に開催しました。当日は開場後、数人のグループが入場したものの、その後の来場者数は多くは伸びませんでした。しかし、その中でも会場に設けられた12協会のブースでは、真剣な眼差しで説明に聞き入り、熱心に質問する学生の姿が見られました。

最終的には昨年より65人減の52人の参加となりました。これはここ数年前から養成校が地区協会を招いて実施する校内就職説明会や、各地区協会が就職フェアが開催されるようになったことにより、多くの加盟園と学生が直接話ができ、自身に適った園を見つけられるようになったのが、今回の参加者の大幅な減少傾向になったひとつの要因

ではと考えられます。これは、次年度に向けて開催の内容を大幅に見直す転機と考え、次に何が出来るのか部員と共に考えていく良い機会になったのではと痛感しております。



また、事前の準備として、パンフレットの大幅な内容検討や、早めの養成校等へ周知活動もしてきましたが、それでも昨年度を上回れなかったことはとても残念に感じます。

今後は県の委託事業となります潜在幼稚園教諭の再就職を促すための既卒者向け就職セミナー(8月22日・厚木／11月4日・小田原)の実施に向け準備をしておりますので、これからも皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

新制度担当特別委員会より

新制度移行から3年目を迎える

迎えた取り巻く環境

委員長 八木 肇



規模保育事業の促進・預かり保育の長時間化等が示されており、検討課題が山積しております。

当委員会では、キャリアアップ研修の一つの分野であるマネージメント研修の来年2月の実施に向けた意見交換が始まりました。今後、キャリアアップ研修のあり方について、

「研修ハンドブック」に記録された過去の研修歴を加えることや、地域の幼児教育の拠点となることが期待される「幼児教育センター」の活用等についてもメンバー間で意見交換し、その結果を県や各市町村の「子ども・子育て会議」等への提案にもつなげていければと思っております。

幼児教育変革の時期、子どもたちの教育環境と共に教育にたずさわる人たちの環境をととのえていきたいと考えますので、宜しくご指導をお願い致します。

Welcome よこそ連合会へ 新規加盟園情報

公益社団法人横浜市幼稚園協会

戸塚幼稚園

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町3967
TEL 045-881-0936
FAX 045-864-5071
(設置者名)森 澤 克 則
(園長名)森 澤 克 則
ホームページ
http://totsuka-youchien.com/



公益社団法人川崎市幼稚園協会

学校法人ひかり学園
第二ひかり幼稚園

〒212-0025 川崎市幸区古川町16
TEL 044-522-4822
FAX 044-533-3158
(設置者名)松 本 壮 次
(園長名)松 本 王 干
ホームページ
http://frontiersoft.heteml.jp/hikari/



お詫びと訂正

前号会報「神私幼200号」(平成29年6月1日発行)におきまして記載に誤りがありました。正しくは右記の通りです。訂正のほどお願い申し上げます。今後このようなことのないよう、より一層注意し作成してまいります。お詫びして訂正いたします。

表紙(誤)

平成29年度事業予定表

1月19日(木) 正・副会長、部・室・次長会／運営委員会
1月31日(水) 県央地区教育研究大会
(正) 1月15日(月) 正・副会長、部・室・次長会／運営委員会
1月18日(木) 県央地区教育研究大会



教育相談室

良い先生、素敵な先生

40代ベテランの先生が新人の先生に助言をしていました。「ほら運動会の際に〇〇ちゃんのお父さんにさりげなく話しかけて…、すると新人先生は「あー、私そういうのだめなんです」。新人先生のクラスでは何かトラブルがあるらしく、保護者の理解を(非公式に)求める必要があったようです。新人先生には至難の業でしょう。こういった根回しの行為は未熟でも保護者には大変人気のある先生でした。なぜでしょう。今風にいうと「子どもファースト」だからでした。とにかく面倒見がいい。子どもが年少児ということもあり、様々な点が心配になるようでした。お母さま方には「よく見てもらった」と好評でした。「子どもを見てもらう」、必要性はありますが、同時に担任の先生も園長、同僚の先生、保護者から「見てもらう」必要があります。そうすることで一人前の幼稚園教諭になっていきます。さて、どのような雰囲気ならばお互いに「見てもらう」関係になれるのでしょうか。園長先生の



教育相談員 鈴木 敦子先生(臨床発達心理士)

免許状更新講習の手續きについて

確実にお願いします

研修事業部長 田中伸宣

8月1日・2日、鶴見大学のご協力のもと、必修・選択必修の12時間の幼稚園教諭免許状更新講習を開催しました。

平成27年に免許状更新講習の運営が改正され、必修6時間と選択必修6時間の講習となりました。これがいわゆる必修領域の12時間です。その他に選択領域18時間の講習を受ける必要があります。合計30時間分の履修証明を揃え、県教委へ申請して初めて免許更新が完了します。

さて、この免許状更新講習制度もそろそろ新免許の方達が更新を受けるようになります。しかしながらこの制度がいまだに正確に理解されていない事例が出てまいりました。単純に生年月日だけでは講習を受ける必要があるかわからない為、まだ必要でないのに更新講習を受けてしまい、結果として県教委で申請が出来ず講習が無駄になってしまうケースが発生しています。どうぞ十分ご留意いただきたいと思います。県教委への手続き等に関する詳細は右表をご覧ください。

暑い中、スタッフとしてお手伝いしていただいた先生方へ御礼申し上げます。

幼稚園教諭免許状更新

あなたの園の教諭の免許状更新はお済みですか？

幼稚園教諭として働き続けるためには免許状の更新が必要です。神奈川県私立幼稚園連合会では加盟園の教諭サポートのため免許状更新講習会をインターネットでの受付システムを採用して開催しております。詳細は当連合会ホームページをご覧ください。

更新年度	更新対象者	更新方法	更新料
1	昭和37・47・57年4/2～12/31および昭和38・48・58年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
2	昭和38・48・58年4/2～12/31および昭和39・49・59年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
3	昭和39・49・59年4/2～12/31および昭和40・50・60年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
4	昭和40・50・60年4/2～12/31および昭和41・51・61年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
5	昭和41・51・61年4/2～12/31および昭和42・52・62年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
6	昭和42・52・62年4/2～12/31および昭和43・53・63年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
7	昭和43・53・63年4/2～12/31および昭和44・54・64年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
8	昭和44・54・64年4/2～12/31および昭和45・55・65年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
9	昭和45・55・65年4/2～12/31および昭和46・56・66年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
10	昭和46・56・66年4/2～12/31および昭和47・57・67年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
11	昭和47・57・67年4/2～12/31および昭和48・58・68年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円
12	昭和48・58・68年4/2～12/31および昭和49・59・69年1/1～4/1生まれの方	インターネット	3,300円

更新主催の更新講習のお問い合わせ先

（公社）神奈川県私立幼稚園連合会
〒221-4005 横浜市中区大野町1-25
電話 045-440-3210（内線1100）
FAX 045-440-3209
E-mail Address kky@kky.or.jp

免許状や更新に関するお問い合わせ先

神奈川県教育委員会教育行政課
教諭免許更新グループ
〒231-8504 横浜市中区日本通33
神奈川県立総合教育センター3F
TEL 045-210-8140
FAX 045-210-8140
E-mail Address kky@pref.ednet.ac.jp

「免許状更新講習」「免許状更新講習免除」の申請について
*詳細につきましては、必ず神奈川県教育委員会のホームページをご確認ください。
*神奈川県以外の幼稚園にお勤めの方は、お勤めの幼稚園の都道府県のホームページをご覧ください。

申請書類の入手方法	インターネットで「神奈川県教委員会」を検索してください。 「神奈川県教育委員会ホームページ」 ①下方「学校で働く」→「教員免許」をクリック ②「教員免許を更新したい」→「手続きに必要な書類等を確認したい方へ」→「神奈川県内の学校に勤務する現職教員の方等ははこちら」をクリック ③「3申請に必要な書類等」→「(1)申請書」から該当する様式をダウンロード
今年度の免許更新対象者	【旧免許】 昭和37・47・57年4/2～12/31および昭和38・48・58年1/1～4/1生まれの方 昭和38・48・58年4/2～12/31および昭和39・49・59年1/1～4/1生まれの方 【新免許】 有効期間の満了日が、H31年3月31日までの方
申請に必要な物	①該当する「申請書」 ②免許状更新講習修了（履修）証明書（更新講習を受講した方のみ、園長等免除対象者は不要） ③お持ちの教員免許状すべての原本（コピーの場合は第3号様式3の証明者の証明のあるもの）又は授与証明書（授与権者が発行した原本）が必要です。 幼稚園教諭免許状の1種と2種持参の場合、両方必要・その他教員免許のある方は全てお持ちください。 ④「神奈川県収入証紙」3,300円分 ⑤「宛先を明記し82円分の切手を貼付した定形の封筒」を御持参ください。 （郵送での受け取りを御希望の場合） *免許状や証明書の氏名・本籍地に変更がある場合は、学校長が証明した履歴事項変更確認書又は戸籍抄本（異動の履歴が確認できるもの・コピーは不可）が必要です。
注意事項	*毎年2月から4月初旬までは、更新等の申請受付はできません。（なお、2月から3月に申請できる方がいらっしゃいますので、詳しくはお問い合わせください。） *本人または園の管理職（園長等）が神奈川県教育委員会申請手続きを行ってください。（一般職員が、他者の申請手続きをすることはできません。） *神奈川県内の幼稚園に勤務している方は、「神奈川県教育委員会」に申請します。 *申請書には園長の公印による証明が必要なものがありますので御注意ください。 *申請をされてから各種証明書の発行までには約1ヶ月かかります。 *郵送での手続きはできません。
場所	神奈川県教育委員会教育局教職員企画課免許グループ 横浜市中区日本通33 神奈川県立住宅供給公社ビル3F TEL 045(210)8140 【受付時間】平日9:00～11:30・13:00～16:00 （土日祝日、12/29～1/3を除く・2月～4月初旬受付停止期間） ★「神奈川県収入証紙」は、事前に用意してから、手続きをしてください。最寄りの警察署内交通安全協会 県庁新庁舎地下売店等で購入できます。その他でも販売しておりますので、ホームページをご覧ください。

平成29年度 神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
公益社団法人横浜市幼稚園協会	256	47,022	48,751	- 1,729
公益社団法人川崎市幼稚園協会	84	20,526	20,560	- 34
横須賀市私立幼稚園協会	30	4,407	4,734	- 327
特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会	29	6,176	6,291	- 115
鎌倉私立幼稚園協会	22	2,978	3,067	- 89
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	16	3,087	3,250	- 163
湘央地区私立幼稚園協会	41	6,363	6,390	- 27
小田原私立幼稚園協会	12	1,347	1,396	- 49
相和私立幼稚園協会	27	4,895	5,068	- 173
一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会	38	7,490	7,765	- 275
逗葉私立幼稚園協会	5	580	612	- 32
厚木地区私立幼稚園協会	20	3,003	3,084	- 81
計	580	107,874	110,968	-3,094

県連設立 1948年(昭和23年)

編集後記

皆様はどのような夏を過ごされましたか。私は仕事から完全に離れた環境で思いっきり我が子と過ごそうと意気込んで、海外へ行って参りました。旅の途中に下の子が手足口病にかかり、海・プールを断念。続いて上の子も発熱し、常夏の島では子ども達はベット生活。帰国後は、自分がプール熱にかかり子どもと隔離生活。まとめて密に子どもと関わることは出来なかったことを思い知らされ、これからは日頃の関わりを大切にしようとして改めて決意した夏となりました。2学期も園行事を中心に、職員研修・父母連大会等大切な行事が目白押しです。4月から夏までに育てた芽が大きく成長することを期待して。皆様も忙しい2学期どうぞお身体大切にお過ごしください。（広報室 対馬 剛）

From the Public Relations Section